

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	伊藤智典
担当業務	・ 本会役員、士会長 OB・OG ネットワーク検討部会の担当として、本会元理事、士会長、士会事務局長、士会理事を地域、年齢、ジェンダーなどバランスに配慮して構成された部会員の先生方と協議を行いました。2年間の検討の集大成として、4月の理事会へ報告書を提出しました。 ・ JANNET (障害分野 NGO 連絡会) では、監査役(監事)として運営にかかわりながらも、国際開発分野の障害関連の情報収集ならびに、障害当事者団体や人道支援系の NPO などとの関係醸成をしています。 ・ 日本障害者リハビリテーション協会では、国際委員として会議に参画し、国際的な障害者を取り巻く動向について意見交換をしています。 ・ World Physiotherapy では、AWP region(世界理学療法連盟アジア西太平洋地区)の執行委員会の委員として AWP region の委員会会議、総会、学会に参加し、グローバルな視点から、次の AWP 学会、同地区の理学療法士の活躍にむけた議論、ならびに Webinar の企画、運営など諸活動を行っています。

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
4 月 5 日	○	第 1 回理事会	対面
		AWP 地区執行委員会会議	オンライン
5 月 11 日		第 2 回理事会	オンライン
5 月 14 日		地域の健康と福祉の向上を図るリハビリテーション全国地方議員の会 設立総会	対面
	○	リハビリテーションを考える議員連盟総会	対面
		田中まさしと希望ある日本を作る会	対面
5 月 15 日		AWP 執行委員会 AWP 学会 2026 会議	オンライン
5 月 29 日		AWP ネットワーキングセッション	対面
6 月 7 日	○	第 54 回定時総会(1 日目)	対面
6 月 8 日		第 54 回定時総会(2 日目)	対面
		第 3 回理事会	対面
6 月 25 日		JANNET 令和 7 年度 第一回役員会、総会	オンライン

所感	4月5日、第1回 理事会が開催されました。本会の定款 第6章に定められている事項のうち、以下の(1),(2)の決議を行いました。 【定款第6章 理事会の職務より】 (1)この法人の業務執行の決定 (2)理事の職務の執行の監督 (3)会長の選定及び解職 (4)副会長の選定及び解職 (5)専務理事の選定及び解職 (6)常務理事の選定及び解職 第60回日本理学療法学会学術研修大会収支予算(案)、理学療法業務功労者厚生労働大臣表彰の候補者の推薦、障がい者団体助成事業選定規程の新設、法改正に伴う就業規則改定の承認、新入会員の承認、懲戒委員会委員の推薦、第54回定時総会の議題承認、本会事務局職員と役員の兼任に係る制限としての就業規則改正(案)について審議し、決議しました。 私は使用人兼任役員ですので、審議事項のうち、「本会事務局職員と役員の兼任に係る制限としての就業規則改正(案)」の議題の間は利益相反にあたらず退席しており、議論には参加しませんでした。事後で議事録を確認したところ、前回から引き続き、提出した意義に疑問が残る内容でした。定款に定める(1)～(6)に当てはまるかどうか分からないという議論のスタートであること、論点や帰結のプロセスにむけた議論をどう考えるかが肝要だと考えます。 続いて、2024年度 第4四半期職務執行状況報告、令和8年度診療報酬改定要望事項(案)、第7回指定規則改正3協会協議、OSCE 実施マニュアル第1版、JICA(国際協力機構)との覚書締結と連携事業、適正な組織運営にむけた提案 -ガバナンスとコンプライアンス-、会長行動録、事務局報告について確認しました。 また資料報告のみですが、組織運営協議会意見交換用として、「公衆衛生」領域におけるいわゆる保健理学療法士の育成に向けた職能研修事業、協会指定管理者制度の見直し(案)、地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度の改定案について確認しました。また2024年度認定・専門理学療法士新規ならびに更新申請結果、グローバルな人材育成にむけた士会との連携事業、ベトナム(ハノイ、ハイズオン)の大学・附属病院との覚書締結と連携事業、第60回理学療法士国家試験不適切問題に関する意見書提出、2024年度日本理学療法士教員協議会報告書、協会役員・士会長OB・OGネットワーク部会、理学療法士労働環境委員会報告書、第63回日本理学療法学会学術研修大会公募、常任理事会の会議報告についても確認しました。 適正な組織運営にむけた提案 -ガバナンスとコンプライアンスについて、協会役員・士会長OB・OGネットワーク部会の提出をしました。会員から信頼される組織運営にむけて、またシニア層の会員の活力と組織の成長にむけて、しっかりした議論を進めていきたいと思います。 傍聴なしの議題とし、て2024年度事業総括報告案および業務執行報告案の報告、懲戒処分について確認しました。懲戒処分は悩ましい判断です。しかし、会の自浄作
-----------	--

用の一つとして機能すべき重要な要件だと認識しています。

5月11日、第2回 理事会が開催されました。本会の定款 第6章に定められている事項のうち、以下の(1),(2)の決議を行いました。

【定款第6章 理事会の職務より】

- (1)この法人の業務執行の決定 (2)理事の職務の執行の監督
- (3)会長の選定及び解職 (4)副会長の選定及び解職
- (5)専務理事の選定及び解職 (6)常務理事の選定及び解職

2024 年度事業報告および決算報告の承認、第 54 回定時総会 次期議事運営委員の推薦、第 54 回定時総会 議長団の推薦、役員報酬等委員の推薦、監事候補者の推薦、2025-2026 常勤役員の公募、休会制度改正案、表彰規程の改正、第 62 回日本理学療法学会学術研修大会 開催日程並びに開催地の変更、新入会員の承認について審議し、決議しました。また受章候補者等推薦規程の改正案と、理学療法業務功労者厚生労働大臣表彰の候補者の推薦についても審議し、決議しました。

報告事項として、令和 6 年度 Sport in Life 推進プロジェクト「ライフパフォーマンスの向上に向けた目的を持った運動・スポーツの推進に係る調査研究」成果報告書、2024 年度実施の役員候補者選挙ならびに会長候補者選挙 結果報告、前回理事会の課題事項等の進捗状況報告、2024 年度期末監査報告、登録・認定・専門理学療法士資格取得者に対する処遇調査の概要、2024 年度認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関に関する実績報告、イオン（株）・イオンリテール（株）との共同事業報告書の公開と中央労働災害防止協会「転倒による労働災害防止の取組み好事例集」への掲載、会長行動録、事務局報告、第 54 回定時総会の進行および提案・答弁、本会要望書に基づく本会会員の国会議員の活動等の広報について確認しました。

また文書での報告ですが、厚生労働省所管の生活支援体制整備促進プラットフォームへの登録、第 4 回理学療法士作業療法士専任教員養成講習会、2025 年飯田賞の推薦者、2024 年度 Spice フォーラムの報告、全国パラスポーツ関連担当者会議報告書送付、障がい児（発達障がい児）対策運営部会報告、今年度計画事業「DX 及び AI 推進啓発事業」及び今後の DX 及び AI 推進、常任理事会の会議報告についても確認しました。

総会の前に行われる例年の決議事項とともに、スムーズな総会運営に資するものと、前年度の事業の成果を確認しました。

5月14日、永田町において、地域の健康と福祉の向上を図るリハビリテーション全国地方議員の会 設立総会、リハビリテーションを考える議員連盟総会が行われました。また赤坂で、田中まさしと希望ある日本を作る会が行われました。

全国地方議員の会では、武雄市議の豊村貴司氏から冒頭挨拶が行われ、地域におけ

るリハビリテーションの推進にむけた横断的な協力体制、情報交換の必要性について説明されました。

リハビリテーションを考える議員連盟総会では、鈴木俊一会長から、高齢化が進む日本において理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の重要な役割について触れ、処遇改善をふくむ、リハビリテーション、ヘルスケアの推進の必要性を強調しました。また繰り上げ当選した小川かつみ先生が、このたび議員連盟に再入会し、副幹事長になることが承認されました。ますますの活躍が求められます。

PT、OT、ST 会長からリハビリテーション専門職の給与の改善、地域偏在、医師との連携でした訪問リハビリテーション、PTOT 法の改正、卒後研修の制度的支援、タスクシフトシェアの推進を訴えた。

厚生労働省から、処遇改善についてさらなる推進をしたいため、議員の協力を得たいと回答があった。訪問リハビリテーションについて、サテライト事業所から訪問リハビリテーションの提供もあり、サービス提供の拡大を図りたい、有識者の検討会を開始した。研修制度について、職能団体の行っている 診療報酬の一部の研修は認定している、安全で質の高い医療を提供することは重要、関係職種卒後研修を調査、研究する。書類の簡素化は重要である、報酬体系の簡素化を引き続きすすめたいので、次期改訂にむけてご意見いただきたい。更なる高齢化の社会において、リハビリテーション専門職が配置されている、部局横断的に推進したいとのことでした。

小川先生、田中先生の両名が議員でいることでアドボカシーが進むことを実感し、重要さを再認識しました。

5 月 15 日 AWP 執行委員会 AWP 学会 2026 会議

他団体の委員として活動している、世界理学療法連盟の AWP 学会 2026 の開催地候補などについて、議論をしました。2 つの加盟組織から招致の申請書が提出されており、公平公正な立場から、丁寧かつ慎重に議論を行いました。最終的には世界理学療法連盟の理事会で判断されることとなります。

5 月 29 日 AWP ネットワーキングセッション

四半世紀ぶりに世界理学療法連盟の学会が東京で開催されました。他団体の委員として活動している、AWP ネットワーキングセッションが初日に開催されました。他団体の委員として参加し、アジアと日本のつながりを促進にむけた取り組みました。

6 月 7 日 第 54 回定時総会（1 日目）

6 月 8 日 第 54 回定時総会（2 日目） 第 3 回理事会

2 日間にわたる総会が開催されました。ご参加された代議員の皆様は長丁場にもかかわらず、本当にありがとうございました。また総会中に開催された理事会において、再び代議員の過半数を超える投票結果を覆そうという意見がありました。フェイクな情報、根拠のない情報で判断はできませんし、政府はワイズスペンディング、エ

	ビデンスベースなポリシーメイキングを推進しています。公益社団法人として、代議員の意見を無視しない運営に心がけていかねばなりません。 2期目を付託いただけたことに感謝を感じつつ、会員さんの将来、理学療法、リハビリテーションが必要な人々への社会づくりにむけた責任を果たす決意を、ただ口だけではなく、行動で表していきたいと思います。引き続き大所高所からのご指導いただきたく、何卒よろしくお願いいたします。 6月25日 JANNET 令和7年度 第一回役員会、総会 他団体の委員として活動している、JANNET(障害分野 NGO 連絡会)の役員会、総会に参加しました。今年はデフリンピックの開催などもあり、障害分野のスポーツなどもありました取り組みなど、幅広く意見交換がなされました。私は監事として、事前に会計監査と事業監査を行いました。世界理学療法連盟の学会の報告も求められました。障害を持つ人を取りまく環境、社会、制度がよりよくなるように、しっかりと様々な団体と手を取り合っていきたいと思います。 今後も何か質問等ございましたら、遠慮なくお問い合わせください。お時間がかかってしまうかもしれませんが、お返事させていただきます。 伊藤智典 E-mail address t-ito@japanpt.or.jp
報告日	2025年7月22日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。